第586号

主な記事

・第48回定期総会　（1面）
・『保険でより良い歯科』請願署名を提出　（1面）
・予防接種・子ども医療費助成アンケート（2面）
・寄稿
自然災害時の「性と生殖の健康と権利」を考える（3面）
・会員紹介シリーズ㉖ ごめんくなんしぇ　（4面）

岩手県保険医新聞

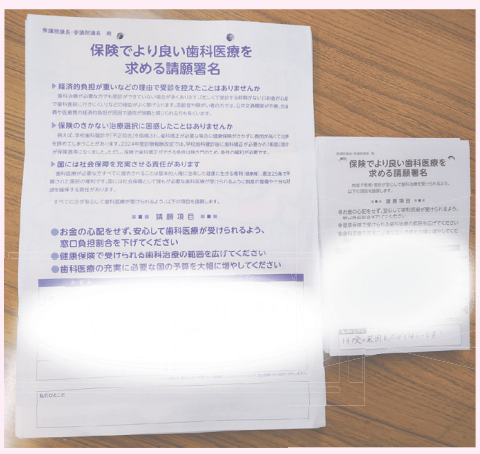
発行所
岩手県保険医協会
〒020-0034
盛岡市盛岡駅前通15－19
TEL 019-651-7341(代)
FAX 019-651-7374
発行人　小山田　榮　二
https://www.i-hoken-i.org
購読料　年2,400円（〒別）
会員の購読料は会費に含まれています。

「保険でより良い歯科医療」請願署名

ご協力ありがとうございました

当会では今年２月から『保険でより良い歯科医療の実現を求める』請願署名を会員の皆様にお願いしていました。948筆の署名が集まり、６月５日、小沢一郎議員秘書に集約した署名用紙を直接手渡しました。

歯科の保険点数は低く抑えられており、歯科医院の困難や歯科技工士の低賃金、人手不足が大きな課題となっています。当会は安心して歯科治療を受けられるよう、今後も点数引き上げと総枠拡大を訴えていきます。この署名は今後も継続しますので、引き続きご協力をお願いします。



いただいた署名用紙

役員新体制に　第48回定期総会

６月22日(日)、盛岡のエスポワールいわてで定期総会を行いました。総会に先立ち物故会員の先生方の功績を偲び黙祷が行われました。米持常任理事の開会の辞に続き、小山田会長があいさつしました。

総会では２０２４年度活動報告、決算報告と会計監査報告が承認された後、役員選挙により第23期役員が決定しました。その後２０２５年度活動計画、予算が承認されました。総会後は会員限定で懇親会を開催し、親睦を深めました。

今年10月26日(日)には恩蔵絢子氏を講師に招き、約６年ぶりに記念講演を開催します。具体的な内容が決まり次第ご案内しますので、ぜひお来しください。

新たな役員体制となりあいさつする小山田会長

医療体制と受療権を守るため　歯科医療費の総枠拡大を

歯科署名提出集会

６月５日、参議院議員会館会議室で『「６・５保険でより良い歯科医療の実現を求める」請願署名提出集会』が開催され、当会から小山田会長と事務局が現地参加しました。

歯科医療問題の深刻さに多くの参加者

集会は保団連も加盟する「保険で良い歯科医療を」全国連絡会が主催し、メイン会場、サテライト会場、オンラインから、計４百名以上が参加しました。

全国連絡会会長で歯科技工士の雨松真希人氏が開会あいさつを行い、保団連歯科代表で全国連絡会副会長の宇佐美宏氏は「低歯科診療報酬政策で歯科は窮地に追い込まれているが、その波が医科にも押し寄せており、医療全体が厳しい状況に追い込まれている。保険のきく範囲が縮小されれば、患者さんが一番影響を受けるため歯科医療費の総枠拡大を訴えて行こう」と述べました。

紹介議員に署名19万1216筆を提出し、16名の国会議員が激励に訪れ、議員18名からメッセージが寄せられました。

集会の前後、紹介議員の要請へ議員事務所を訪問し小沢一郎、鈴木俊一両衆議院議員、木戸口英司、横沢高徳参議院議員は秘書対応となり、取り次ぎを依頼した結果、小沢一郎衆議院議員に紹介議員を快諾いただきました。階猛衆議院議員は本人・秘書とも不在で面会できませんでした（木戸口議員に集会にご参加いただく予定でしたが、委員会が入りご参加いただけませんでした）。

全国から集まった19万1,216筆の署名を提出

小沢一郎衆議院議員秘書（左）に
署名を手渡す小山田会長（右）

鍼（はり）のひびき

ＪＴＢは今年の1月から宿泊施設向けのデジタル支援システムでキャンセル料を自動で請求できるようにした。無断キャンセルや未払いの背景には、ファミリー客などを集客しやすい現地払いが、国内では宿泊業界に根付いていることがあるとしている。無断キャンセルした場合は不正検知システムに記録し、次回から現地払いを利用できなくしたとのことだ。▼レストラン、美容院、ジムとかの予約を旨とする他業種と同じく、医療機関も無断キャンセルには無力感が漂う。悲鳴をあげても、コンサルには「患者さんの理解を深めることが大切です」「前日に自動的に連絡する機械を利用しなさい」とかと言われる。▼法的手段に訴えた話を聞いた。溜飲は下がったが、示談金よりも弁護士費用の方が高くついたとか。▼さきの某女優の事件があって、ペイシェントハラスメント（ペイハラ）の話題が再燃した。予約を軽視する一部の患者に良心や公徳心を期待していては、医療機関の被害は一方的だ。無断キャンセルはサイレントペイハラとして周知すべきだ。

（今娑羅　渚）

■　税務調査、個別指導、保健所の立入検査の連絡があった際は、お早めに協会にご相談ください。（TEL 019-651-7341）

9自治体が独自の助成を実施

帯状疱疹ワクチン

当会は、4月中旬から5月下旬にかけて、県内すべての自治体に対し、予防接種についてアンケートを行いました。一覧表（表1）の中から、今回は帯状疱疹の予防接種助成について紹介します。

帯状疱疹は今年度より定期接種となり、対象は今年度65歳を迎える方と、60～64歳のヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障がいがあり日常生活がほとんど不可能な方となっています。経過措置として5年間、70、75、80、85、90、95、100歳になる方も対象です（今年度のみ100歳以上の方も全員対象）。

50歳以上の方を助成している自治体は9自治体で（表2）、このうち6自治体（宮古市、紫波町、矢巾町、普代村、野田村、九戸村）は2023年から、3自治体（花巻市、遠野市、田野畑村）は2024年から助成を開始しています。

宮古市は今年度から対象を拡大し、組換えワクチンの助成額も4千円から1万円に引き上げています。

2023年、2024年に助成を開始した自治体の大半が助成を継続・拡大していますが、昨年助成を開始した山田町の対象者は65歳以上の方全員、岩泉町は、50歳以上から国の基準と同じ65歳を迎える方に縮小されています。

県内の各自治体では接種費用の半額前後を助成していますが、他の都道府県では50歳以上に対して全額助成していたり（東京都檜原村）、組換えワクチンの接種を6千円程で受けられたりと（群馬県上野村、長野県辰野町、王滝村など）より手厚い自治体も多く、全国と比較するとまだまだ改善の余地があります。

帯状疱疹は高齢者だけでなく、若年層でも発症するため、定期接種のさらなる対象拡大と、各自治体の助成の充実が求められます。

【表1】任意予防接種費用助成実施状況（成人）

（2025年7月現在・岩手県保険医協会調査）

・肺炎球菌ワクチンは2つの自治体で助成（任意分）
・帯状疱疹ワクチンは9つの自治体（27.2％）で助成
・麻しんワクチン（成人）は単独での助成はなし

○：助成を実施

		肺炎球菌ワクチン（任意）	帯状疱疹ワクチン	麻しんワクチン（成人）
合計（予定含む）		2	9	0
無料実施		0	0	0
1	盛岡市	—	—	—
2	宮古市	—	○	—
3	大船渡市	—	—	—
4	花巻市	—	○	—
5	北上市	—	—	—
6	久慈市	—	—	—
7	遠野市	—	○	—
8	一関市	—	—	—
9	陸前高田市	—	—	—
10	釜石市	—	—	—
11	二戸市	—	—	—
12	八幡平市	—	—	—
13	奥州市	—	—	—
14	滝沢市	—	—	—
15	雫石町	—	—	—
16	葛巻町	—	—	—
17	岩手町	—	—	—
18	紫波町	—	○	—
19	矢巾町	—	○	—
20	西和賀町	—	—	—
21	金ヶ崎町	—	—	—
22	平泉町	—	—	—
23	住田町	—	—	—
24	大槌町	—	—	—
25	山田町	—	—	—
26	岩泉町	—	—	—
27	田野畑村	—	○	—
28	普代村	—	○	—
29	軽米町	—	—	—
30	野田村	○	○	—
31	九戸村	○	○	—
32	洋野町	—	—	—
33	一戸町	—	—	—

【表2】帯状疱疹ワクチンの助成状況

国：対象者　65歳の方、60～64歳でヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害があり日常生活がほとんど不可能な方。
5年間は経過措置として70、75、80、85、90、95、100歳も対象。今年度のみ100歳以上の方も対象。

※太枠は独自の助成を行っている自治体。
※対象者が国の基準で生ワクチン4000円、組換えワクチン10,000円助成している14自治体は省略。

（2025.7.1現在）

市町村名		対象	助成額 生ワクチン	助成額 組換えワクチン	個別通知
1	盛岡市	国の基準	4,570円	11,970円×2回	○
2	宮古市	50歳以上	4,000円	10,000円×2回	×
4	花巻市	50歳以上	4,000円	10,000円×2回	○
5	北上市	国の基準	4,460円	11,060円×2回	○
7	遠野市	50歳以上	4,000円	10,000円×2回	○
10	釜石市	国の基準	4,558円	11,758円×2回	○
12	八幡平市	国の基準	4,000円	11,000円×2回	○
13	奥州市	国の基準	4,180円	10,830円×2回	○
16	葛巻町	国の基準	6,500円	15,900円×2回	×
18	紫波町	50歳以上	4,000円	10,000円×2回	×
19	矢巾町	50歳以上	4,000円	10,000円×2回	○
20	西和賀町	国の基準	2,900円	7,300円×2回	○
21	金ヶ崎町	国の基準	4,180円	10,830円×2回	○
24	大槌町	国の基準	4,558円	11,758円×2回	○
26	岩泉町	国の基準	4,000円	8,000円×2回	○
27	田野畑村	50歳以上	4,000円	4,000円×2回	○
28	普代村	50歳以上	接種費用の半額 上限10,000円	接種費用の半額 上限10,000円×2回	○
30	野田村	50歳以上	4,000円	10,000円×2回	△
31	九戸村	50歳以上	4,000円	11,000円×2回	○

※　生保受給者は全額助成。
大槌町、普代村は非課税世帯も全額助成。遠野市は生ワクチンのみ全額助成。
盛岡市、滝沢市は中国残留邦人等支援給付受給世帯も全額助成。
宮古市：非課税・生保受給者　生ワクチン上限8,000円、組換えワクチン20,000円
組換えワクチンを接種した方については、2025年4月1日に遡り不足額を償還払いにて支給。
北上市、滝沢市：生保受給者　生ワクチン上限8,860円、組換えワクチン22,060円
金ヶ崎町：非課税・生保受給者　生ワクチン8,180円、組換えワクチン21,630円
花巻市：任意接種助成対象となる50歳の誕生月に個別通知を行い、定期接種対象者には生保受給者にのみ個別ハガキを送付。
矢巾町：令和8年3月末までで任意接種の助成は終了。
野田村：チラシ全戸配布や村広報

標準的な1回あたりの接種費用

	生ワクチン	組換えワクチン
接種費用	8,860円	22,060円
接種スケジュール	1回接種	2回接種

子ども医療費助成

自己負担・所得制限なし 25自治体に

当会で今年4月に2年ぶりに行った自治体へのアンケートで、子どもの医療費助成を所得制限なく無料で受けられる自治体は25市町村（75・8％）で、2023年と比較して5市町村増加していることが分かりました（2025年7月現在）。所得制限がある自治体は久慈市のみとなっています。

新たに自己負担や所得制限を撤廃した自治体のうち、北上市は2023年12月に所得制限を撤廃。遠野市と岩手町、山田町と岩泉町は昨年8月に自己負担をなくし完全無償化。滝沢市と一戸町は昨年4月に所得制限を撤廃しました（一戸町も完全無償化）。これに加え、二戸市は8月から自己負担をなくし完全無償化する予定です。

2年前と比較すると助成拡大が進んでいますが、都道府県によっては全市町村で自己負担のない所もあり、さらなる拡大が求められます。

【表3】子ども医療費の自己負担がある自治体

（2025年7月現在）

市町村名		自己負担（レセプトごと）
1	盛岡市	高校生まで：　通院　750円　入院2,500円
4	花巻市	高校生まで：　通院　750円　入院2,500円
5	北上市	高校生まで：　通院　750円　入院2,500円
11	二戸市	高校生まで：　通院1,500円　入院5,000円
14	滝沢市	3歳～就学前：通院　750円　入院2,500円
		高校生まで：　通院1,500円　入院5,000円
18	紫波町	高校生まで：　通院　750円　入院2,500円
19	矢巾町	高校生まで：　通院　750円　入院2,500円

○県基準　対象者：通院－就学前まで、入院－小学生まで
所得制限：あり
自己負担：通院1,500円、入院5,000円
（3歳未満と非課税世帯はなし）

※二戸市は今年8月から完全無償化予定

自然災害時の〝性と生殖の健康と権利〟を考える

寄稿

岩手県立大学看護学部
福島裕子（助産学、女性健康看護学）

日本国内では地震や豪雨、山火事などの災害が頻発しており、特に東日本大震災以降、避難所の設営や対応について議論されるようになってきました。国内の避難所は未だ設備が十分とは言えず、感染症防止やプライバシーの配慮等、多くの課題があります。

そこで、東日本大震災の時には現地で、能登半島地震の際も女性や子どもの支援に携わった福島裕子先生に寄稿いただきました。

大規模な自然災害発生後は、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖の健康と権利：以下SRHRと略す）に関する様々な問題が起こる。特に女性は長期化する避難所生活で、外陰部の炎症や膀胱炎、尿失禁や月経不順など、女性特有の健康問題に直面する。また、ジェンダーの格差や避難所運営が男性中心であることで、着替えや授乳室、下着を干す場所が確保できない、支援物資を男性が管理しているので月経用品を取りに行けない、などの不利益を被る。筆者は、東日本大震災や能登半島地震で避難所の女性特有の健康支援活動を行ったが、女性たちの身体特有の健康問題は、なかなか他者に相談できる内容でもなく、精神面にも影響していた（福島２０１２、２０２４）。

そして、もう一つ自然災害後のSRHRの大きな問題は、性犯罪・性暴力被害である。大規模な災害発生後は性暴力が増加することは世界で報告されている（Rezaeian M 2013, Thornton, Voigt, 2011, Horton 2012）。２０１１年の東日本大震災においても性暴力被害があった。避難生活の中で夫・交際相手など身近な存在からの暴力（ＤＶ）は確実に増加（可視化）したこと、性的な嫌がらせやわいせつ行為、セクハラ、同意のない性行為強要なども報告されている。「避難所のリーダーに、（夫を亡くして）大変だね。タオルや食べ物をあげるから、夜＊＊に取りに来て、と言われ、取りに行くと、あからさまに性行為を強要された」といった地位・立場を利用した対価型性暴力も起こっていた（東日本大震災女性支援ネットワーク２０１５）。また、東日本大震災を契機に開設された電話相談「よりそいホットライン」に２０１３年から２０１８年の５年間で性暴力に関する相談が５割以上、10代から20代の若年層の被害は、全体の４割に上った。つまり性暴力は災害急性期だけでなく復興期にかけてもリスクは続くのである。

性暴力は「魂の殺人」である。それは自然災害時に限ったことではない。しかし災害時の性暴力被害当時者は、自身も災害被災者という脆弱性から「災害後でみんなが大変な状況だから・・・」「せっかく、支援してくれるので悪いから・・・」と思い、相談できず一人で抱えたままになりやすい。つまり災害時こそ、性暴力被害当事者がひとりで悩み、苦しむのではなく、できるだけ早く支援とつながることが必要なのである。

筆者は、昨年の能登半島地震後、七尾市の根上昌子医師、岩手県の一般社団法人GEN-J代表理事の田端八重子氏と連携し、日本労働組合総連合会と一般社団法人社会的包摂サポートセンターの協力を得て、能登半島地震後に性暴力被害にあわれた方へのオンライン診療と緊急避妊ピルのデリバリー、その後の継続支援につなげる体制を立ち上げた。その体制を今年３月に大船渡で発生した森林火災時にも活用している。幸いにもまだ稼働することなく来ているが、岩手県でもいつ大きな自然災害が起こるかわからない。能登半島地震で構築したようなオンライン診療と緊急避妊ピルデリバリーシステムの岩手版を、平時の今から整えられないだろうか。県土が広く、婦人科受診場所が限られる岩手県だからこそ、必要なのではないかと考える。

国際的な人道支援のガイドライン「スフィア基準（２０１８）」では、ジェンダーを考慮した支援の重要性が明記されている。２０２４年11月に石破茂首相が「発災後、早急に全ての避難所で同基準を満たすことができるよう事前防災を進める」と表明した（産経新聞２０２４）。今後、日本でSRHRに視点を当てた防災対策や災害支援が目指されることを一人の女性健康支援の専門家として期待したい。

＜引用文献＞
東日本大震災女性支援ネットワーク(2015).東日本大震災「災害・復興時における女性と子どもへの暴力」に関する調査報告書　改訂版
Horton, L(2012).After the earthquake: Gender inequality and transformation in post-disaster Haiti. Gender & Development. 20(2): 295-308.
福島裕子（2012）．東日本大震災における女性支援活動 ～看護学部教員として、助産師と～、平成23年度岩手県立大学看護学部 災害復興支援活動報告書 21-34.
福島裕子（2024）．能登半島地震後の被災地の女性たちの支援ニーズや健康状況（速報）フォレンジック看護学会誌 ,11(1),27.
Rezaeian M（2013）.The association between natural disasters and violence: A systematic review of the literature and a call for more epidemiological studies. Journal of Research in Medical Science. 2013, 18:12, 1103-1107.
産経新聞（2024）石破首相の肝いり「スフィア基準」、避難所の居住環境改善に期待　指標の独り歩きに懸念も 12月11日 https://www. sankei. com/article/20241211-KUMJB2WSIBK-5JAP3AAWUGFQJJI/.
Sohere（2018）：スフィアハンドブック～人道検証と人道支援における最低基準～ https://jqan.info/wpJQ/wp-content/uploads/2019/10/sphere-handbook2018_jpn_web.pdf　（2025年5月11日）
Thornton, W. E., Voigt, L.(2011).Disaster rape: Vulnerability of women to sexual assault during Hurricane Katrina. Journal of Public Management and Social 10 Policy. 13(2), 23-49.

優しさと安心感を与えるメイク

～医療従事者のためのマスクメイク～

6月8日、盛岡のアイーナで「医療従事者のためのマスクメイク～好感度が上がるメイクのコツ～」と題したセミナーを行いました。講師はイメージコンサルタントの近谷樹里さんが務め、医療従事者にふさわしいメイクの仕方をレクチャーしました。

はじめにメイクアップの基本ステップを説明し、肌が健康的だとはつらつとして艶やかに見えること、大人の女性は顔の色味が足りないことが多いため、チークは必須と話しました。

ベースメイクの化粧下地やファンデーションの選び方のコツ、塗り方のテクニックについて触れ、呼吸しているような肌が理想としました。

アイブロウ・アイシャドウの基本テクニックの解説の後、マスクが欠かせない医療従事者にとってマスクで隠れる部分であっても血色感が大事なことから、チークとリップメイクについても説明しました。

その後、参加者は持参したメイクアイテムを使って実際にメイクをしました。スキンケアの仕方から丁寧に指導を受け、ファンデーションが合っているか、先生が一人ひとりチェックし、アドバイスしました。

参加者からは「少人数だったので丁寧に指導いただきわかりやすくとても勉強になりました。人と接する仕事なので、外見的にも少しでも相手に良い印象を与えられるのであれば、それもまた１つのアイテムなのかなぁと思いました」と感想が寄せられました。

講師の近谷樹里さん

9月28日には近谷さんを講師にパーソナルカラー診断を行いますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

保団連 研究会交流サイトのご案内

保団連ホームページでは、各地の保険医協会、保険医会主催のウェブ研究会を案内しており、保団連情報サービスに登録すれば無料で参加できます（登録無料）。詳細は保団連研究会交流サイトで確認できます。

～ 今後の予定 ～

○7／15（火）19:30～21:00　佐賀協会
医科歯科合同研究会「歯科から始まる糖尿病連携 ―地域包括ケアにおける歯科の役割―」
押村 憲昭 氏（かすもり・おしむら歯科・矯正歯科・口腔機能クリニック院長）

○7／18（金）19:00～20:30　静岡協会
動画で見る開業医の先生方のための口腔外科小手術のコツとポイント
堀之内 康文 氏（公立学校共済組合 九州中央病院 歯科口腔外科元部長）
申し込み締切：7／17（木）23:59

○7／24（木）19:00～20:30　栃木協会
実例から学ぶ認知症対策最前線
元木 翼 氏（司法書士法人ミラシア代表社員）
申し込み締切：7／22（火）17:00

○7／27（日）14:00～15:30　岡山協会
第362回プライマリケア懇話会「知っておきたい咳嗽と喀痰のお話～和洋折中療法～」
沖本 二郎 氏（おきもと内科と外科のクリニック／さとう記念病院 医師／元川崎医科大学教授）
申し込み締切：7／24（木）23:59

伝え方の工夫で相手の行動に変化も
スタッフセミナー

5月21日、盛岡のアイーナで「コミュニケーションスキルアップ研修～信頼関係・モチベーション・チームワークの向上に～」と題したスタッフセミナーを開催しました。講師は企業人材育成トレーナーの嶋田佳子氏が務めました。今回のセミナーは中堅向けに開催し、19名が参加しました。

講師の嶋田佳子氏

嶋田氏はまず、世代により「当たり前の感覚」に違いがあることについて解説。違いを知ることでコミュニケーションの幅が広がるとし、それぞれの職場の基準は、世代による「当たり前」のズレを考慮して誰もが迷わないものに整えていく必要があると説明しました。

嶋田氏は、相手に改善してほしい行動がある場合に、性格ではなく行動に着目して「行動を変えるために何ができそうか」を考える行動科学的なアプローチについても解説。

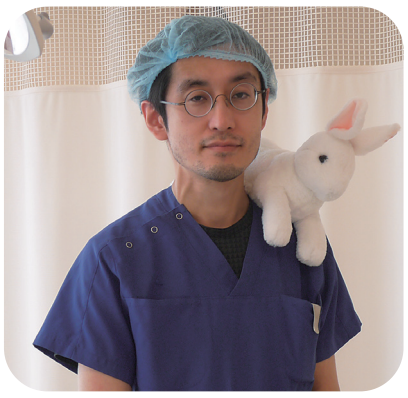
セミナーで行われたディスカッションのようす

これは環境の改善、行動したくなるようなきっかけの用意、行動後の振り返りや評価を行うという流れを指します。例として相手に提示する期限・指示の明確化、リマインドや中間報告、具体的な成果を伝えることが挙げられます。嶋田氏は伝え方の工夫により相手の行動を変えることができると述べました。

同じ意味でも言葉の伝え方により受け取り方が変化するとし、「できそう感」あふれる言葉の4つのポイントを紹介しました（①不安をあおらない、②一歩踏み込む、③相手に心の準備をさせる、④不快に聞こえる言葉を使わない）。嶋田氏は、これらのポイントに注意して伝えることで、相手の人格を否定せず、かつ相手へ「自分にもできそうだ」と感じさせることができると話しました。

セミナーでは実践やディスカッション、質疑応答も行われ、参加者からは、「自分が変わればいいとストレスを感じていたが、相手への伝え方でもアプローチできると勉強になった」、「世代間ギャップを埋めるため、お互いに努力が必要だと感じた。声かけひとつで全員が気持ちよく仕事ができ、うまく仕事がまわると感じたので今後に活かしたい」などの感想が寄せられました。

―会員紹介シリーズ㉖―
ごめんくなんしぇ
まきなえ歯科小児歯科（盛岡市）
院長　蒔苗　剛　先生


院長 蒔苗　剛 先生

蒔苗先生は岩手医科大学歯学部を卒業し、岩手医大大学院歯学研究科で小児歯科について学びました。その後、岩手医大歯科医療センター、八戸のくまさか歯科で勤務医として経験を重ねました。大学で勤務していた時に小児だけでなく、多くの障がいのある方の治療をしていたほか、くまさか歯科でも幅広く患者さんを受け入れていたと言います。

このような経験を経て、障害のある方や子どもの患者さんの受け入れを積極的に行っていきたいと思い、昨年10月に盛岡の西見前に開業しました。

院内はバリアフリーで、スロープ、多目的トイレや授乳室があり、車いすに乗ったまま治療が受けられるようになっています。

開業のため、院内をバリアフリーにする予定でテナントを探していましたが、幸いこのテナントには、初めから多目的トイレや授乳室があったそうです。診察室のうち一つは個室で、障がいのある方や幼い子どもなど一般的な治療を受けることが難しい方でも、人目を気にせず安心して治療が受けられるよう配慮しています。

ドリルを使った治療が難しい方は手作業で歯を削るため、非常に時間がかかります。しかし、時間をかけて治療に慣れていくことで、ドリルで治療できるようになった方も多いと言います。

医院の看板には、ウサギアーティストの森山標子さんに依頼した、白い歯に見立てた白いウサギが描かれています。猫とウサギが好きな先生は森山さんの作品を見て、開業にあたりデザインをお願いしました。院内のいたるところにウサギのオブジェや人形、ウサギに関する書籍や絵本が置かれ、すべての診察室に1匹ずつぬいぐるみが置かれています。子どもにはぬいぐるみを使って説明したり、治療が苦手な方がリラックスするためにぬいぐるみを抱きかかえていることもあるとのこと。

患者さんは近隣の方が多いですが、大学病院勤務の時に治療していた方の家族や、遠野など遠方から通院している患者さんもいます。

お休みの日は家で過ごされることが多く、いつかウサギを飼いたいとのことでした。

各診察室に置かれたウサギのぬいぐるみ

味処 289
キッチン バル コネクト
Kitchen Bar CONNECT
北上市

北上駅近くの諏訪神社の目の前にある雰囲気の良い小さなレストラン。4種類ある季節のパスタセット（前菜、スープ、パン付）から「サルシッチャとゴルゴンゾーラのクリームパスタ」（1600円）とデザートセット（ティラミス300円＋コーヒー300円）をチョイス。

ゴルゴンゾーラの乗った食べ応えのあるパスタ

運ばれてきた前菜は色とりどりで何種類もの野菜が。カボチャやナスの他、タラモサラダ、キッシュ、フライドポテトもあり、スープも含めてたくさんの野菜を味わえます。

サルシッチャはイタリア発祥の生ソーセージですが、皮から中身を取り出してほぐし、ひき肉のようにしてパスタやピザの具材としても使われます。

旨味が凝縮され塩気が効いたサルシッチャとコクがありミルク風味も感じるゴルゴンゾーラの相性は抜群で食べ応えのあるクリームパスタです。

ティラミスは口の中で溶けていきます。ちょうど良い甘さのティラミスとあっさりとしたコーヒーは食後にピッタリ。

定期的に変わるランチメニューはホームページで確認できます。店主夫婦こだわりのおいしい料理を食べに出かけてみませんか？

住所　北上市諏訪町一丁目2-19
電話番号　0197-72-6935
営業時間　11時30分～15時（ラストオーダー14時）　18時～22時（ラストオーダー21時）
定休日　日曜・不定休あり
駐車場　ランチ6台あり　ディナーなし

常任理事会だより 4月

【日時】
2025年4月22日（火）
19：30～21：20

【場所】
盛岡フコク生命ビル会議室（ウェブ併用）

【出席者】
役員、事務局併せて12名

主な決定事項
1、2025年4月期活動報告並びに2025年5～6月期活動計画が承認された
2、「物価高騰に対する医療機関への財政措置を求める」団体署名の提出が承認された
3、ウェブ会議に使用する機材の購入について承認された
4、盛岡市に国保加入者全員に資格確認書を送付するよう要請することが承認された